

第 11 回 芝浦ビジネスモデルコンペティション(SBMC) 応募規約

芝浦ビジネスモデルコンペティション（以下 SBMC）への応募にあたっては、以下の規約をよく読み、納得した上で参加してください。応募書類等（ビジネスアイデア部門、ビジネスモデル部門）の提出により、参加者は当規約に同意したものとみなされます

1. 趣旨

SBMC は、次世代を担う若者の企業家精神（アントレプレナーシップ）の育成と、新規事業や起業を生み出すイノベーションの推進という二つの目的を掲げ、豊かで持続可能な社会の実現に寄与することを目指しています

2. 第 11 回募集テーマ

「アイデアとテクノロジーでより良い社会に貢献しよう！」

新たな発想で社会をより便利かつ豊かにするビジネスモデルや、技術を活かしたビジネスアイデアを広く募集いたします

3. 募集部門

3.1 【ビジネスアイデア部門】募集テーマに合致した新たなビジネスアイデアを所定の様式にて提案していただきます

3.2 【ビジネスモデル部門】新規事業の立ち上げ、もしくは起業をそうていしたビジネスモデルを、所定の様式にて提案していただきます

4. 応募資格

※以下のすべての条件を満たしてください

4.1 芝浦工業大学および他校（大学院生、学部生、高校生、中学生を含みます）の在学学生、教職員、または SBMC の趣旨に賛同される社会人等

4.2 応募はチーム単位で、1 チームあたりのメンバーは最大 6 名までとします

4.2.1 チームの代表者は必ず学生（大学院・大学・高校・中学生）であり、メンバーの半数以上が学生である必要があります

4.2.2 同一個人が複数のチームに参加することは可能ですが、複数の代表を兼任することはできません

- 4.2.3 応募者が高校生または中学生の場合は、必ず担当教員を明記してください
(中高生チームの場合、担当教員は人数に含めません)
- 4.2.4 社会人が個人の資格でチームに参加される場合は、所属企業・組織との契約や合意により応募や受賞が禁止されていないことをご確認ください
- 4.2.5 外国籍の方が参加される場合は、各種法規やガイドラインにより条件や制約が設けられる場合がありますので、事務局までご相談ください
- 4.3 応募時に虚偽の情報が含まれている場合は、応募が無効となります
- 4.4 SBMC 実行委員会が定める運用方針やその他の条件にも従ってください

5. 提出物（ビジネスプラン）

5.1 定義

- 5.1.1 「ビジネスプラン」とは、提出されるビジネスアイデア提案書又はビジネスモデル提案書および関連する書類・データ（スライド、画像、動画等）を総称します

5.2 注意事項

- 5.2.1 提出される「ビジネスプラン」はオリジナルで、未発表のものでなければなりません。また、第三者の権利を侵害していないことをご確認ください
- 5.2.2 他のビジネスコンペティションやプロジェクトで提出済みのプランと同一のものは応募できません。ただし、SBMC 向けに改良や新たな要素を加えた場合は対象となります
- 5.2.3 大学の研究室の技術を利用される場合は、必ず担当教員の承認を得てください
- 5.2.4 ビジネスプランの作成過程で AI 技術を活用することは可能ですが、AI が使用した学習データをそのまま転記すると著作権侵害にあたる場合もありますので、注意してください
- 5.2.5 第三者が権利を有する画像・映像などの素材を使用される場合は、適法な使用であることを自己責任で確認し、SBMC 実行委員会や関係者に迷惑や損害を与えないよう留意してください
- 5.2.6 もし第三者や実行委員会から知的財産権の侵害が疑われた場合は、選考対象から除外する、または受賞後であっても受賞を取り消す場合があります。その際、受賞者は支援金等を速やかに返還していただきます
- 5.2.7 ビジネスプラン作成過程で生み出された知的財産権は、SBMC 実行委員会が提供する技術情報にかかる権利を除き、応募者に帰属します
- 5.2.8 権利の譲渡が生じた場合は、当事者同士で解決するものとし、SBMC 実行委員会は一切の責任を負いません

5.2.9 知的財産に関して不安や懸念がある場合は、提出前に担当教員や弁理士への相談を強く推奨します

5.2.10 不正、違法、不適切な内容が含まれている場合は、実行委員会または選考委員の判断により選考対象から外すことがあります

6. 選考プロセス

(ビジネスアイデア部門)

6.1 書類選考（一次審査）

6.1.1 提出されたビジネスプランは、SBMC 実行委員会が指定する選考委員によって、選考基準に基づき審査されます

6.1.2 書類選考を通過したチームは、ビジネスアイデアコンテストへ推薦されます

6.2 ビジネスアイデアコンテスト（ピッチ（プレゼンテーション）および審査）

6.2.1 一次選考を通過したチームは、対面でピッチ（プレゼンテーション）を行い、審査員との質疑応答を行います

6.2.2 一次選考を通過しても、ビジネスアイデアコンテストに参加しない場合は、選考辞退とみなされます

6.3 審査の評価項目

6.3.1 審査では、以下の評価項目が考慮されます

- ① **顧客課題と市場の理解**－ 顧客課題の的確な把握や市場とニーズの変化への理解
- ② **ユニークで有効な解決策の提案**－ 斬新なアプローチ、チームの独自性
- ③ **ビジネスの可能性（ビジネスセンス）**－ ビジネスとしての可能性、将来ビジョン
- ④ **プレゼンテーション力**－ 説得力と熱意、質疑応答の対応力

(ビジネスモデル部門)

6.4 書類選考（一次審査）

6.4.1 提出されたビジネスプランは、SBMC 実行委員会が指定する選考委員によって、選考基準に基づき審査されます

6.4.2 書類選考を通過したチームは、セミファイナルへ推薦されます

6.5 セミファイナル（オンラインピッチおよび審査）

- 6.5.1 一次選考を通過したチームは、オンラインでピッチ（プレゼンテーション）を行い、その後の審査でファイナルステージへの参加チーム（ファイナリスト）が決定します
- 6.5.2 一次選考を通過しても、セミファイナルに参加しない場合は、選考辞退とみなされます
- 6.5.3 応募数が一定基準に満たない場合は、セミファイナルを実施しないこともあります。詳細は実行委員会よりご案内します

6.6 ファイナルステージ

- 6.6.1 セミファイナルを通過したチームは、ファイナルステージでピッチ（プレゼンテーション）および審査員との質疑応答を行います
- 6.6.2 審査は協賛企業や専門家・学識者などによる多角的な視点で行われ、入賞者が決定されます

6.7 審査の評価項目

- 6.7.1 審査では以下の評価項目が考慮されます

- ① **顧客課題と市場の理解**－ 顧客の深い洞察、真の課題の把握、市場とニーズの変化への理解
- ② **ユニークで有効な解決策の提案**－ 斬新なアプロー、チームの独自性、技術の創造的活用
- ③ **ビジネスの実現性とロードマップ**－ 実現可能性と将来ビジョン、明確な収益モデル、活動実績と今後の予定
- ④ **プレゼンテーションカー** 説得力と熱意、質疑応答の対応力

6.8 選考結果について

- 6.8.1 選考結果は、選考委員および実行委員会の最終判断によるものとし、特段の事情がない限り変更はいたしません
- 6.8.2 選考の過程や結果、受賞理由についての個別の問い合わせには応じられません

7. 表彰、副賞およびフォローアップ

7.1 表彰内容

【ビジネスアイデア部門】

- 7.1.1 **金賞**：表彰状、支援金 10 万円
- 7.1.2 **銀賞**：表彰状、支援金 5 万円
- 7.1.3 **銅賞**：表彰状、支援金 1 円

7.1.4 ジュニアイノベーター賞：表彰状、図書券

7.2 受賞者の特典

7.2.1 最優秀賞及び優秀賞受賞チームは、ビジネスモデル部門のセミファイナルへの出場が推薦されます。

【ビジネスモデル部門】

7.2.2 **最優秀賞**：表彰状、盾、支援金 50 万円（ビジネスモデルの試作・検証、起業準備などにご活用いただけます）

7.2.3 **優秀賞**：表彰状、盾、支援金 20 万円（ビジネスモデルの試作・検証、起業準備などにご活用いただけます）

7.2.4 **企業賞**：表彰状、支援金 10 万円（協賛企業から特に高く評価されたプランに対して）

7.2.5 **NEDO 賞**：表彰状、および国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からのメンタリングや各種サポート

7.2.6 **奨励賞**：表彰状、支援金 5 万円

7.2.7 **敢闘賞**：表彰状

7.2.8 **特別賞**：第 10 回を記念して検討中。詳細は別途案内します

7.3 入賞者への特典

7.3.1 豊洲キャンパス ベイエリア・オープンイノベーションセンター（BOiCE）内のコワーキングスペースを 1 年間無料で利用いただけます（その他の特典については別途ご案内します）

7.3.2 入賞者個人にデジタルバッジを発行します。これにより、進学、就職、SNS 等で活用いただけます

7.4 フォローアップ

7.4.1 入賞者には、セミナー・ワークショップ、有識者によるメンタリング、調査や試作・検証の支援、さらにはスタートアップ立ち上げに向けた実務支援など、豊富なフォローアップメニューを提供します

7.5 賞の内容、金額、本数、およびフォローアップの詳細は応募状況や提案内容、その他事情により変更される場合があります

7.6 ファイナルステージに招待されたチームが登壇しなかった場合は、辞退とみなされ受賞資格を失います

7.7 支援金に関する事項

- 7.7.1 支援金は入賞したビジネスプランに対して支払われます
- 7.7.2 支援金は日本国内の有効な口座への振込となり、海外送金はできません
- 7.7.3 必要書類の期限内提出がない場合は、支援金や盾等の送付は行いません
- 7.7.4 支援金が課税対象となる場合、その納税義務は受賞者ご自身に発生します
- 7.7.5 実行委員会は、支援金の有効活用のため、後日使途について問い合わせする場合があります

8. スケジュール

詳細なスケジュールは、SBMC 公式ウェブサイトにて随時ご案内します

9. 主催・協賛・後援

9.1 主催：芝浦工業大学

9.2 事務局：芝浦ビジネスモデルコンペティション実行委員会

住所：〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7-5

e-mail：SBMC-info@sic.shibaura-it.ac.jp

ウェブサイト：<https://sbmc.shibaura-it.ac.jp/>

9.3 協賛・後援（※参考：第10回実績）

9.3.1 【協賛】

株式会社アーネストワン、株式会社IHI、株式会社AIRI、株式会社イトーキ、株式会社エスアイテック、NEC ネットスエスアイ株式会社、株式会社日本能率協会コンサルティング、株式会社フォトラクション、ユニークビジョン株式会社

9.3.2 【後援】

経済産業省、江東区、一般社団法人さいしんコラボ産学官、埼玉県、さいたま市、埼玉縣信用金庫、株式会社埼玉りそな銀行、東京商工会議所、東京東信用金庫、株式会社日刊工業新聞社、NEDO、フリー株式会社

10. SBMC 実行委員会の構成と権限

10.1 SBMC 実行委員会は、芝浦工業大学の規定に基づいて組織されています

10.2 応募者が実行委員会の指示に従わなかった場合や、他者に迷惑を及ぼす行為、違法行為、公序良俗に反する行為が認められた場合は、応募を差し止めることがあります

10.3 この場合、応募者に損害や不利益が生じたとしても、SBMC 実行委員会は一切の責任を負いません

10.4 応募結果により生じた損害や不利益についても、法律に特段の定めがない限り、実行委員会は責任を負いません

11. 情報公開および応募規約の変更

11.1 応募者は、SBMC の実施、運営、管理、放送、広報活動の目的で、応募されたビジネスプランや応募者・チームの肖像、プロフィール、ならびに各種活動成果を利用されることに同意し、著作権人格権を行使せず、異議申し立てや対価の請求等を行わないものといたします

11.2 応募規約の変更

SBMC 実行委員会は、応募者への事前の予告なく応募規約を改定することがありますが、可能な限り改定内容を周知いたします

12. 個人情報の取扱い

12.1 応募および応募に際して SBMC 実行委員会に提供された個人情報は、芝浦工業大学の個人情報保護方針 (http://www.shibaura-it.ac.jp/educational_foundation/compliance/privacy_policy.html) に従い、厳重に管理されます

12.2 これらの情報は、SBMC の実施、運営、管理、放送、広報活動、ならびに最新情報の提供やアンケート送付などの目的のため、SBMC 実行委員会またはその指定する第三者により処理、保存、使用されます

13. 反社会的勢力に関する誓約

13.1 応募者の表明と確約

応募者は、自己が暴力団、暴力団関係者、暴力団員でなくなってから 5 年以内の者、またはこれに準ずる者、さらには暴力団や暴力団員と密接な関係にある者（以下「暴力団員等」といいます）でないことを表明し、将来にわたって該当しないことを確約いたします

13.2 応募者が上記に違反した場合、または以下の行為を行った場合、SBMC 実行委員会は何らの通知・催告を行わずに応募を取り消します

13.2.1 相手に対する暴力的な要求行為、法的責任を超えた不当な要求行為、非道徳的または非倫理的な行為、脅迫的な言動、暴力行為、風説の流布、偽計または威力を用いた信用毀損や業務妨害行為、その他、前各号に準ずる行為

13.3 応募取消により生じた損害について、SBMC 実行委員会は一切賠償責任を負いません

14. 準拠法および合意管轄

14.1 準拠法：本応募規約の解釈および適用は、日本国の法律に準拠いたします。

口頭その他客観的証拠で証明できない合意は、効力を有しません

14.2 合意管轄：本応募規約に関する訴訟については、東京地方裁判所を第一審の専属的な合意管轄裁判所とすることに応募者は同意いただきます

以上